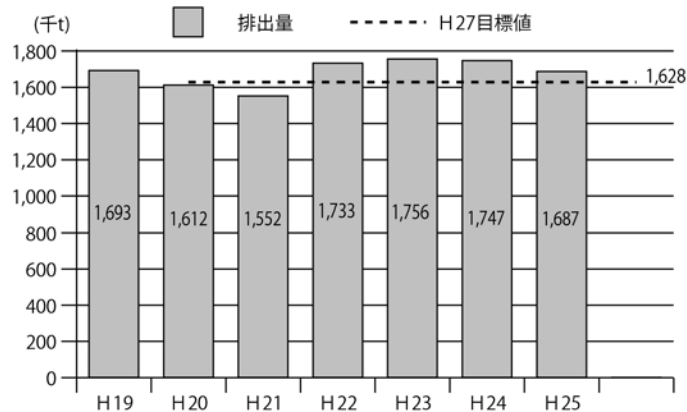


(2) 産業廃棄物

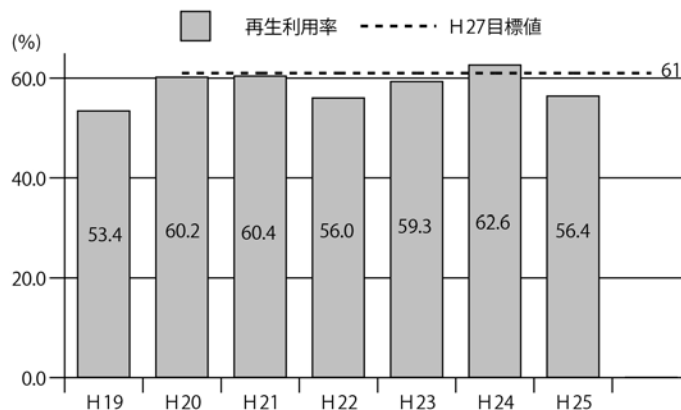
① 排出量の現状



・産業廃棄物の排出量は、一般的には景気の動向などに大きく左右されるが、島根県では顕著な増減は見られず、小幅な変動で推移している。目標は未達成。

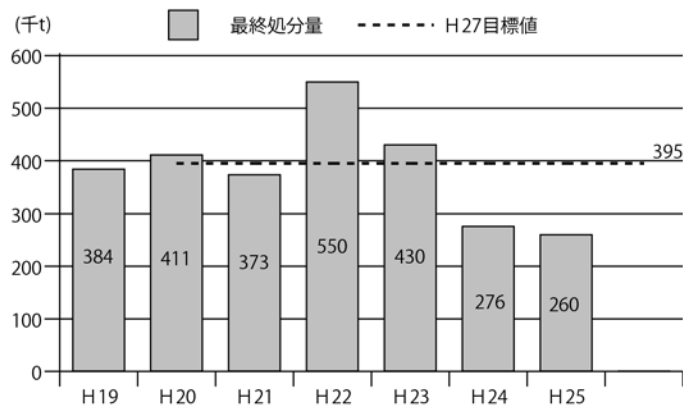
その原因としては、産業廃棄物排出量の増減は、公共事業の事業量や火力発電所の稼働状況に大きく影響され、島根県では全体排出量の約7割を占めるがれき類（土木工事関係）、汚泥（主として上下水道事業）、ばいじん（石炭火力発電所）の3種で増加傾向であったためと考えられる。

② 再生利用率の現状



・平成24年度に目標を達成したが、概ね50%から60%の間を変動しながら推移し、目標未達成。

③ 最終処分量の現状



・平成22年度がピークで、その後は、石炭灰のセメント資材利用などの需要増による資源化が進んだことなどで減少しており、目標達成。